

## 第三学年 国語科学習指導案

日 時 平成17年11月1日(火)6校時

学 級 3年3組 男18名 女子21名 計39名

場 所 3年3組教室

指導者 教諭 千田 裕子

### 1 単元名

本の世界を広げよう「握手」

### 2 単元について

#### (1) 教材観

本教材は、小説のおもしろさを生むさまざまな要素を含んでいる。巧みな人物描写、時間軸の交錯、伏線、暗示的な情景描写、含蓄のあるセリフ、語り手の心理描写など、分析するほどに小説の魅力には理由があるということを実感させられる作品である。

学習指導要領には「教材選定の観点」として3、(2)イの伝え合う力、思考力、想像力、ウの適切に判断する能力、オの人生について考えを深めることがあげられており、本教材はそれに該当する。作品に隠されたさまざまな仕掛けを読み解く過程で、思考力、想像力を養い、登場人物であるルロイ修道士の生き方や「わたし」との心の結びつきに触れることを通して自分の生き方をも考えさせたい教材である。

#### (2) 生徒の実態

2学期初めにとったアンケートによると、文章を読むために、生徒自身が今自分に必要であると感じているのは、「文章を読み、それについての自分の考えを表現する能力。(再構成力)」が最も多く、次いで「表現の巧みな部分や構成のおもしろさに気づき、楽しむ能力。(読解)」「文章の内容と自分の考えを合わせて新しい考えを持つ能力。(批評力)」であり、読書を通して広い視野を持てるようになりたいと願っている。1学期の古典の学習では、基礎・基本としての「読み取り」だけでなく、古典の楽しさを味わい、自己の生き方に返していく読みの方法を学ぼうとする発言、文章表現が見られた。また、説明的文章の読み取りの授業で読みの交流を図った際は、他者の工夫を賞賛し、自らもその工夫を取り入れようとする姿が見られた。

よって、本単元では、読みの技術の習得にとどまらず、最終的には小説の持つ世界をともに学ぶ仲間と共有し、交流しあう授業を展開することが求められるものと考えている。また、多くの社会的背景を含み、さらに、個々の多様な読みが期待される次単元教材の「故郷」でそのような授業を展開するためには、基本的な読みの技術を身につける必要があると考えている。

#### (3) 指導観

本単元では特に、表現の仕方についての指導事項「ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。」に指導の重点を置き、基礎・基本である「文章の内容を正確に理解する力」を育てる。さらに、対話や討論などを行うことにより、個々の読みの交流を図り、他者の視点を借りて多角的な読み方に高めたい。そうすることにより、「読書の世界が広がる」感覚を味わわせ、読書を楽しむ力をつけさせたい。

今回は、学習活動で使用する「ワークシート」を、教師と個々の生徒との会話の場ととらえ、評価や支援の積み重ねが見えるものをねらった。また、「発表」を単なる発表で終わらせるのではなく、発表の裏にある「段取り」を「読み取る」場として生徒に提供することもねらうこととした。

小説を楽しむための基本的な視点を「握手」で学び、さらに「故郷」では、「握手」で学んだ読みの技術を用いて、主題に迫りたい。また、学び方の一つとして、自分の持つ知識をいつどこでどのように生かせばよいのかを判断する力もつけさせたい。

### 3 単元の目標及び単元の評価計画

#### (1) 単元の目標 (4時間扱い)

単元の指導目標			
小説を読むときの視点を得、より深く読み味わうことの楽しさを味わい、自己の読書生活を豊かにすることができる。			
観 点 別 目 標	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
	小説の持つ様々な仕掛けを意欲的に読み解こうとし、他の作品を読む際に役立てようとしている。	小説をより楽しむための視点を持ち、それをを用いて登場人物の人物像を読み取ることができる。	自分のイメージする人物像を表す語彙を探し、あてはめることができる。

#### (2) 単元の評価計画

時 間	学習内容	評価場面	評価規準	具体の評価規準		
				A	B	C努力を要する生徒への支援
1	<p>アンケート結果 (小説のおもしろさとは) を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人は人を知るためにどこを見るか話し合おう</div> <p>映像を見る 人物像をどうとらえたかとその根拠を書き込む。 他の人の発表を聞き、書き込む。 人物像をとらえるための視点を確認する。</p>	記述内容の観察	<p>【関心・意欲・態度】 他者の考える「小説のおもしろさ」を聞き、自分の考えを深めようとしている。</p> <p>【読む】 映像の中の人物像をとらえて記述しようとしている。 人物像をとらえるための視点を記述している。</p>	<p>複数の視点を意識して人物像をとらえている。</p> <p>自他の読みの視点を記述することができる。</p>	<p>自分の視点を意識して人物像をとらえている。</p> <p>自分の読みの視点を記述し、他者の読みの視点を選択することができる。</p>	<p>発表内容を板書する。</p> <p>発表内容を板書する。</p>
2	<p>人物像をとらえる視点を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「握手」ではだれをどうやって知るのがか考えよう</div> <p>通読する。 設定を確認する。 読む対象がルロイ修道士であることを確認する。 人物像を読み取る方法を考える。</p>	<p>発言内容、記述内容の観察</p> <p>記述内容の分析 グループ編成</p>	<p>【読む】 本文の概要を理解している。</p> <p>課題解決の方法を記述している。</p>	<p>本文を読み、概要についての質問に答えている。</p> <p>課題解決の方法を自力で見つけ、記述している。</p>	<p>本文を読み、概要をワークシートにまとめている。</p> <p>課題解決の方法を選択肢から選び、記述している。</p>	<p>読み方や意味のわからない語句を確認し、抵抗を取り除く。</p> <p>個々に合った課題解決の方法を指導者が与える。</p>

3	<p>人物像を読み取る方法を確認する。</p> <p>ルロイ 修道士の人物像を読み取ろう</p> <p>個々に読み取り、ワークシートに記入する。</p> <p>グループ毎に個々の読みを確認する。</p>	<p>記述内容の観察</p> <p>話し合い状況の観察</p>	<p>【読む】</p> <p>自分で選んだ方法でルロイ修道士の人物像を読み取っている。</p> <p>【話す・聞く】【読む】</p> <p>同じ方法で読みとった人と人物像について話し合っている。</p>	<p>自力で見つけた方法を使って読み、ルロイ修道士の人物像を記述している。</p> <p>他者の読みとの共通点・相違点に気づきながら話し合っている。</p>	<p>選択した方法を使って読み、ルロイ修道士の人物像を記述している。</p> <p>他者との共通点に気づきながら話し合っている。</p>	<p>ワークシート上にヒント（読む視点）を与えておく。</p> <p>グループ名を教える（読み方別の名前をつける）</p>
4	<p>映像を自分の視点で見る</p> <p>いろいろな視点でルロイ修道士の人物像を読み取ろう</p> <p>他のグループの発表を聞く。</p> <p>読み取りの視点を予想する。</p> <p>読みの方法確認。</p> <p>お互いの読み取りを評価する。</p> <p>自分の読みを振り返る。</p>	<p>聞く姿勢、話し方の観察</p> <p>記述内容の確認</p> <p>記述内容の観察</p> <p>記述内容の観察</p>	<p>【話す・聞く】</p> <p>読み取った人物像を発表している。</p> <p>【読む】</p> <p>他者の解決方法を予想している。</p> <p>【読む】</p> <p>他者の解決方法から、読みの方法を理解している。</p> <p>【書く】</p> <p>自他の学習を振り返り、客観的に記述している。</p>	<p>読み取った人物像を聞く人にわかりやすく発表している。</p> <p>発表を聞いて、自分で予想している。</p> <p>自分の読みの方法や予想と発表を比べながら、理解している。</p> <p>他者の優れた点と自分の思考とを客観的に振り返り、記述している。</p>	<p>読み取った人物像を発表している。</p> <p>選択肢を参考に予想している。</p> <p>発表された読みの方法を理解している。</p> <p>他者と自分の思考の違いを振り返り、記述している。</p>	<p>話形を与える</p> <p>いくつかの視点を与え、選択の幅を狭める。</p> <p>ワークシート上にヒント（具体例）を与えておく。</p> <p>ワークシート上に根拠を示しながら自己評価の観点を与える。</p>

#### 4 本時の指導

##### (1) 研究主題との関わり

###### ア 基礎・基本の重点

- ・ルロイ修道士の人物像を文章表現から読み取ることができる。（読むこと）
- ・人物像を探るために、意欲的に他者の方法を学ぼうとする。（関・意・態）

###### イ 課題解決を図るための指導過程の工夫

- ・ワークシートを教師と生徒の対話の場面とし、それぞれの読みの段階や個々が選択した課題解決方法に応じた支援をする。
- ・個の読みを交流することにより読みの深まりを仕立てる（学びあい）
- ・個々の解決方法を読みの技術として一般化する。
- ・学習活動としての相互評価 自己評価の技術を教える。
- ・セルフナビゲーション能力をつけるための自己評価用語を教える。

###### ウ 評価を生かした指導の工夫

- ・ワークシートで個々のつまずきを知り、一覧にする。
- ・ワークシート上で個のつまずきに応じた支援をし、さらに段階別のワークシートを活用する。

###### エ 定着を図る工夫

- ・既習知識を使って別作品を読む授業を組む。
- ・読みの交流を他のテキストでも行っていく。

(2) 展開

段階	学習過程	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	ウォーミングアップ  課題の設定 (課題の把握)	ルロイ修道士の人物像を読み取った視点でもう一度映像を見る。	(着目させたい点) 人物像を読む視点 多様な読みがあること	
展開 45分	課題の追究 (見通し)  (自力解決)  (表現)  課題の解決  (一般化)	<p>いろいろな視点からルロイ修道士の人物像を探ろう</p> <p>1、課題解決の方法を確認する。 《方法》 自分が選んだ読み取りの方法でワークシートに人物像をまとめる。 グループで読み取りを進める。 (以上、前時まで)</p> <p>2、3、 他の人の発表を聞き、読み取りの方法を予想する。</p> <p>4 種明かしする。</p> <p>5、 読みの方法を確認する。</p> <p>6、相互評価 自分の読み取り方を客観視するために、他者の読み取りを評価する。</p>	<p>1、「解決の段階を一人一つずつ発表してください。」 (カード提示)</p> <p>2、グループ代表による発表 (シレットワークシート) (生徒による紙版書)</p> <p>3、「読み取りの方法を予想し、ワークシートに書いてください。」 発言</p> <p>4、「当てられた！という人は手を挙げてください。」 「では説明してください」</p> <p>5、「今日明かされた読みの方法をワークシートに記入してください。」</p> <p>6、「他の人の読み取り方についての評価を、ワークシートに記入してください。」</p>	<p>・読みの方法を予想することができたか。(読む) ワークシート</p> <p>・さまざまな読みの方法を理解することができたか。 (読む) ワークシート</p>
終末 5分	(振り返り)	<p>7、自己の学習の振り返り 自分の思考と学びを客観的に分析し、表現する。</p> <p>8、次時の予告</p>	<p>7、今日の授業で、あなたがどんなことを学び、考えたかをワークシートに記入してください」 付箋にも記入 印刷</p> <p>8、「次の時間は今日学んだことを生かしてさらに奥の深い小説に挑戦します！」</p>	<p>・自分の学習を振り返り、記述することができたか。 ワークシート</p>